令和5年 第9回米子市教育委員会定例会会議録

日 時 令和5年8月24日（木）午後1時
場 所 教育委員会室

出席した教育委員会教育長及び委員の氏名

浦 林 実（教育長）
白 井 靖 二
上 森 英 史
荒 川 陽 子
塩 地 淳 子

説明のため出席した職員の職氏名

事務局長兼こども政策課長	長谷川 和 秀
事務局次長兼学校教育課長	西 村 健 吾
こども施設課長	斎 木 雅 徳
こども支援課長	長 尾 理 恵
生涯学習課長	毛 利 公 一
学校給食課長	伊 藤 康 恵
文化振興課専門官	中 原 齊
こども政策課長補佐	東 森 健 悟
こども政策課担当課長補佐	木 村 俊 文
こども政策課主任	山 中 敦 子
こども政策課主事	石 塚 亜希子
こども政策課事務員	山 崎 武

議事日程

- 第1 会議録署名委員の指名
- 第2 前回の会議の会議録の承認
- 第3 教育長の報告
- 第4 議 事

議案第4 1号 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価について

議案第4 2号 米子市指定有形文化財の指定に係る米子市文化財保
護審議会への諮問について

議案第4 3号 米子市教育委員会教育長に対する事務の委任に関す
る規則の一部を改正する規則の制定について

議案第4 4号 米子市行政手続における特定の個人を識別するた
めの番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用

及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する
条例の制定について
議案第45号 令和5年度一般会計補正予算(補正第4回)について
(教育委員会の所管に属する部分)

開 会 午後1時

浦林教育長 ただいまから、令和5年第9回米子市教育委員会定例会を開会いたします。

1 会議録署名委員の指名

浦林教育長 それでは、日程第1 会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員に上森委員を指名いたします。

2 前回の会議の会議録の承認

浦林教育長 次に、日程第2 前回の会議の会議録の承認に移ります。前回の会議の概要について、事務局から報告をお願いします。

長谷川事務局長 教育長。

浦林教育長 長谷川教育委員会事務局長。

長谷川事務局長 前回の会議は、令和5年7月31日に開催され、議案第37号「米子市スポーツ推進審議会委員の任命について」から、議案第39号「令和6年度から令和9年度まで使用する小学校各教科の教科用図書採択について」まで3議案についてご審議いただき、原案のとおりご承認いただきました。報告は以上です。

浦林教育長 前回の会議の会議録を承認します。

3 教育長の報告

浦林教育長 次に日程第3 教育長の報告について、私から報告をいたします。今日は2点報告させていただきます。

1点目は、8月4日に3年ぶりに制限なしで小中サミットを実施しました。ご参加いただきました委員の皆様ありがとうございました。

2点目は、8月9日に管理職研修を実施しました。SNSのトラブルの状況について西部少年サポートセンターの種原課長補

佐に、また、学校問題対応について野口弁護士にご講演をいただきました。子どもたちが安心して過ごすことができる、また、学校運営がさらに円滑になる助けになればと思います。

4 議事について

浦林教育長 それでは、日程第4 議事に入ります。

議案第4 1号「令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について」を議題とします。

事務局から説明をお願いします。

木村担当課長補佐 教育長。

浦林教育長 木村こども政策課担当課長補佐。

木村担当課長補佐 議案第4 1号「令和4年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について」でございますが、議案1ページをお開きください。

6月30日及び7月31日に協議いただきました内容につきまして、教育委員の意見として取りまとめをいたしました。その確認と合わせ、その後、8月8日に外部の学識経験者の方々から意見の聴取を行い、これを盛り込んだ形での最終報告書となりました。本日は、これらを確認いただき、報告書を完成させる運びでございます。

別添資料の「令和5年度実施 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づき、ご説明させていただきます。それでは、点検・評価報告書の1ページをお開きください。

まず、「1 点検・評価の目的」でございます。下から2行目にありますように、「効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていこうとするもの」でございます。

続きまして、「2 教育委員会の構成及び会議の開催状況」でございます。(1)教育委員会の構成は、令和4年度の委員名簿と任期となっております。(2)会議の開催状況は、開催実績について記載しております。

次に2ページ、「3 教育委員会の会議での審議状況」でございます。教育委員会で審議しました案件を内容ごとに分類して、件数を分類番号べつにまとめ、記載しております。2ページ中段から4ページまでは、教育委員会の各会議における審議案件と

分類番号を記載してございます。

次に、4 ページ中段、「4 教育委員会の会議以外の活動状況」でございます。教育長及び教育委員の主な活動状況を記載しております。

次に、5 ページ、「5 教育委員会事務局の組織」でございませう。令和4年4月1日付け行政組織機構改正により、公民館に関する事務については、生涯学習課から市長部局の地域振興課に移管されましたので、5 ページ下段に、その内容を記載しております。

次に、6 ページ、「6 教育委員会事務局の主な担当業務」でございませう。令和4年4月1日付け行政組織機構改正により、主な担当業務も変更となりましたので、先ほどと同様にその内容を記載しております。

次に、7 ページからは、点検・評価の具体的な実施内容に関する部分でございませう。まず、「7 点検・評価と米子市教育振興基本計画との関係について」でございませう。令和4年2月に新たに策定した米子市教育振興基本計画は、計画期間を令和4年度から令和8年度までとしています。この計画では、本市教育が中長期的に目指すべき姿を「基本理念」として示すとともに、基本理念を支える4つの「基本目標」を掲げています。

具体的な施策を実施するに当たり、基本目標の実現に向けた「基本施策」について、教育委員会がその推進状況や課題等を踏まえて、点検・評価いたしました。なお、公民館に関する事務については、令和4年度から市長部局へ移管し、教育委員会の所掌事務ではなくなったため、教育委員会では点検・評価を行わないこととしました。

80、81 ページに資料として「米子市教育振興基本計画 体系図」を載せております。

7 ページに戻って頂きまして「8 点検・評価の方法について」でございませう。「(2) 点検・評価の区分」でございませうが、①「主な取組（個別事業）」の点検・評価については、取組状況及び数値目標に対する実績を評価基準に基づき◎、○、△、×の4段階で評価しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により取組状況に影響があった場合は、「新型コロナウイルス感染症の影響あり」としました。②「基本施策評価（総合評価）」については、主な取組の評価及び取組状況の総括を参考に、評価年度での基本施策の到達度の観点から、総合的にSからDの5段階で評価しました。

次に、8ページから11ページまで、「9 点検・評価結果の概要」を記載しております。まず、「(1) 総合評価」でございますが、令和4年度は18の基本施策について、目標達成されたもの(S)は2件、順調なもの(A)は12件、概ね順調なもの(B)は3件、やや遅れているもの(C)は1件で、遅れているもの(D)はありませんでした。

評価のうち、目標達成されたもの(S)、順調なもの(A)、概ね順調なもの(B)を合わせた割合が9割を超えていることから、新型コロナウイルス感染症等の影響はありましたが、全体としては概ね順調に進捗したものと評価しています。ただし、順調なもの(A)、概ね順調なもの(B)と評価した基本施策においても、主な取組には、概ね達成(O)のものもあることから、個別に課題のある事業について、数値目標への対応を図っていく必要があります。

続きまして、「(2) 基本目標ごとの評価」でございますが、教育振興基本計画における4つの基本目標ごとに、基本施策を評価し、教育委員及び学識経験者の主な意見、指摘事項を記載しております。

教育委員の個別のご意見につきましては、13ページからある基本施策ごとの点検・評価票(様式1)の下段に記載しております。

また、78、79ページに、「11 学識経験者の知見」を記載しております。教育委員会としての点検・評価の結果をまとめるに当たりまして、点検・評価の客観性を高めるために、教育に関して学識経験を有する方々の知見を活用することとしております。8月8日に、こちらに記載しております3人の学識経験者から点検・評価に関する意見を伺い、併せて記載しております。全体を通したものとして、数値目標を達成した事業については、次年度以降、目標設定を見直し、米子市教育振興基本計画の目標が達成できるように取り組んでほしいという意見を頂いております。

今後の運びでございますが、この点検・評価の報告書につきましては、市議会9月定例会の民生教育委員会で報告した後、ホームページ等で公表することとしております。

最後に、資料の訂正をお願いします。点検・評価報告書の69ページの基本施策評価を「A 新型コロナウイルス感染症の影響あり」としてありますが、新型コロナウイルス感染症の影響ありは削除をお願いいたします。

説明は以上でございます。

浦林教育長 質疑はございませんか。

荒川委員 お願いします。

浦林教育長 荒川委員。

荒川委員 学識経験者のご意見の中にオープンスクールに参加できなかった方に情報提供してほしいというものがありますが、もっともだと思えます。積極的に情報提供ができればと思います。

浦林教育長 西村教育委員会事務局次長

西村事務局次長 就学時健診や入学説明会の際にも情報提供できますが、早めの情報提供の方法を検討していきたいと思えます。

浦林教育長 質疑がないようですので、採決いたします。

議案第41号については、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

浦林教育長 異議がないようですので、議案第41号「令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について」は、原案のとおり承認することにいたします。

浦林教育長 次に、議案第42号「米子市指定有形文化財の指定に係る米子市文化財保護審議会への諮問について」を議題とします。

事務局から説明をお願いします。

中原専門官 教育長。

教育長 中原文化振興課専門官

中原専門官 それでは、議案第42号「米子市指定有形文化財の指定に係る米子市文化財保護審議会への諮問について」、ご説明をいたします。議案資料の2ページ、3ページをご覧ください。

米子市文化財保護条例第3条第1項の規定に基づきまして、次に掲げる文化財を米子市指定有形文化財に指定するため、同条第2項の規定により米子市文化財保護審議会に諮問することをお諮りいたします。

下の欄で申し上げますと、今回の案件有形文化財、分類でいくと歴史資料ということになります。名称は、「かいけおんせんしがいちせつけいず おりしもよしのぶさくせい」としております。

所在地は米子市皆生温泉一丁目18番の1、数量1、所有者は皆生温泉観光株式会社でございます。

3ページの資料で概要を説明させていただきます。皆生温泉につきましては、明治になってから発見されまして、海の中で発見されたわけでございますけれども、明治33年に海岸近くほうで泉源が確認されまして、それに基づきまして地域振興の一環ということで、皆生温泉開発に有本松太郎が着手しました。有本松太郎は、兵庫県の出身でございますけれども、鉄道等で財を成しまして単なる温泉開発ではなく都市計画を含む一大温泉郷の開発を志したものでございます。その構想を具体的に示したものが、今回の皆生温泉市街地設計図であります。

当時、国立公園計画の第一人者として知られておりました内務省の技師、折下吉延、鳥取城のところの公園とかも設計した人でございますけれども、この方に依頼をいたしまして大正10年に作成されたものです。

下の図が少し小さいのでわかりづらいですけれども、実際の大きさは縦76cm、横90cmほどある図面ということになります。彩色のきれいな図面でございます。左下のほうの凡例は、ほとんど見えない状態にあるんですけども、例えば図書館であるとか学校であるとか公会堂であるとか、あるいは右側のほうに運動場が見えると思えますけど運動場であるとか、そういうものも含めた都市計画として温泉開発をしようと考えられた構想図です。

その後の街路、市街地区画、例えば皆生温泉の四条通りとか三条通りといったような通りとか公園等の都市計画の骨組みとなっておりまして、現在の皆生温泉の成り立ちを物語る重要な歴史資料であると考えております。

ご審議のほどよろしく申し上げます。

浦林教育長 質疑はございませんか。

白井委員 この設計図が現在の皆生温泉のまちづくりにどれくらい生かされているのでしょうか。

浦林教育長 中原専門官。

中原専門官 これは構想図というべきもので、この先に計画を進めるための図面が作られて施工をされたと思っております。現在はこの図の三分の一から上ぐらいは、海になっています。

 当時の米子駅から皆生温泉まで開通した路面電車は、これをもとに開設されたと考えられます。

上森委員 この図面は皆生温泉観光株式会社さんが持ち込んでこられたのですか、それともこちらが探して出してもらえたのですか。

浦林教育長 中原専門官。

中原専門官 皆生温泉の記念誌には載っていますが、本物を見ることはできていませんでした。山陰歴史館が行った皆生温泉100周年記念の展覧会の時にも本物は出てきませんでした。これをきっかけに、こちらの方から見せてくださいとお願いしましたら快くお貸しいただきました。現在は、山陰歴史館でお預かりしております。

上森委員 指定をされたときに補修や管理を米子市の方が代行するのか、それとも皆生温泉観光株式会社さんが判断されるのかどちらででしょうか。

浦林教育長 中原専門官。

中原専門官 現在、皆生温泉観光株式会社さんは、皆生温泉の成り立ちを示す大切なものなので、所有するというお考えでございます。指定後の修理等は補助、助成ができるだろうと思っております。また、この扱いにつきましては将来的には分かりませんが、大切なものなので米子市の関係機関に委託をしたいというようなお考えを社長さんはお持ちです。

浦林教育長 質疑がないようですので、採決いたします。
議案第42号については、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

浦林教育長 異議がないようですので、議案第42号「米子市指定有形文化財の指定に係る米子市文化財保護審議会への諮問について」は、原案のとおり承認することにいたします。

浦林教育長 次に、議案第43号「米子市教育委員会教育長に対する事務の委任に関する規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とします。
事務局から説明をお願いします。

木村担当課長補佐 教育長。

浦林教育長 木村こども政策課担当課長補佐。

木村担当課長補佐 議案第43号「米子市教育委員会教育長に対する事務の委任に関する規則の一部を改正する規則の制定」につきまして、ご説明いたします。

議案資料の4ページに議案を、5ページ及び6ページに規則の一部改正案を、7ページに参考資料を載せております。

議案資料7ページをお開きください。「議案第43号 参考資料」といたしまして、改正理由及び改正内容について載せております。この度の改正理由についてでございますが、教育委員会の権限に属する事務について緊急に処理する必要がある場合において、教育委員会の会議を招集する時間的余裕がないとき、又は教育委員会の会議が成立しないときは、教育長において、当該事務を臨時に代理することができるようにするため、改正するものでございます。

次に、議案資料5ページをご覧ください。規則の一部改正案の新旧対照表を載せております。資料の右側が改正前、左側が改正後の規定でございます。

左側の改正後の欄をご覧ください。題名を「米子市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則」に改めることとします。

次に、第1条に、規則の趣旨を定めることとします。

次に、第4条第1項に、教育長は、教育委員会の権限に属する事務について緊急に処理する必要があると認める場合において、教育委員会の会議を招集する時間的余裕がないとき、又は教育委員会の会議が成立しないときは、当該事務を臨時に代理することができることとします。

次のページ、6ページですが、第4条第2項に、教育長は、臨時に代理したときは、当該事務の処理の状況について、次の教育委員会の会議において報告しなければならないこととします。

なお、この規則改正は、公布の日から施行することとしておりまして、公布は、8月25日を予定しております。

説明は以上でございます。

浦林教育長 質疑はございませんか。

浦林教育長 上森委員。

上森委員 教育長が臨時代理決裁をする具体的な事項を教えてください。

浦林教育長 木村担当課長補佐。

木村担当課長補佐 具体的には、急な人事異動に関する案件や災害等の急遽補正予算を組まないといけないような案件を現時点では想定しております。

浦林教育長 長谷川教育委員会事務局長。

長谷川事務局長 人事異動につきましては、直前に知られることから会議を招集することができませんので、教育長臨時代理決裁でお願いしたいということが1つです。それと災害時補正予算で復旧対応するとか当面の対応のための急遽の予算の設置の2点を想定しての今回の提案です。

上森委員 それ以外の想定っていうのは出てこないのでしょうか。

浦林教育長 現時点では、ないと考えております。

上森委員 今までやってきたことで規則にないことがあったのでそれを

決めておこうという理解でいいですか。

浦林教育長 長谷川教育委員会事務局長。

長谷川事務局長 そのとおりです。補足ですけども、その際には連絡を差し上げて、事務的な手続きさせていただきたいと思います。

上森委員 それは文章化されないわけですね。

浦林教育長 長谷川教育委員会事務局長。

長谷川事務局長 今のところ考えておりません。

上森委員 では、連絡をしっかりとお願いします。

浦林教育長 連絡されたことを確認してから決裁したいと思います。

上森委員 意思疎通をしっかりとお願いします。

浦林教育長 分かりました。

浦林教育長 質疑がないようですので、採決いたします。
議案第43号については、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

浦林教育長 異議がないようですので議案第43号「米子市教育委員会教育長に対する事務の委任に関する規則の一部を改正する規則の制定について」は、原案のとおり承認することにいたします。

浦林教育長 次の審議に入る前にお諮りいたします。
議案第44号及び議案第45号については、米子市として8月25日に公表を予定している為、本議案の審議を非公開とする事を提案したいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

浦林教育長 異議がないようですので、議案第44号及び議案第45号の審議については、非公開といたします。

浦林教育長 それでは、議案第44号「米子市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題とします。
事務局から説明をお願いします。

長尾課長 教育長。

浦林教育長 長尾こども支援課長。

長尾課長 議案第44号についてご説明いたします。

これは、教育に関する事務に係る「米子市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例」の議案を米子市議会9月定例会に提出することにつきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づきまして、米子市教育委員会の意見を求めるものでございます。

まず、改正の理由でございますが、行政手続の簡素化による市民負担の軽減を図るため、法に定める事務以外で教育委員会が個人番号マイナンバーを利用することができる事務として、就学援助に関する事務を追加するとともに、当該事務における特定個人情報の提供に関し、必要な事項を定めようとするものでございます。

具体的な改正内容といたしましては、第一に個人番号マイナンバーを利用することができる事務に就学が困難と認められる学齢児童または学齢生徒の保護者に対する援助に関する事務であって、規則で定めるものを追加するものでございます。

第二に、この事務を処理するために提供できる特定個人情報として、住民票関係情報、地方税関係情報、生活保護関係情報、外国人生活保護関係情報を追加するものでございます。以上2点が改正の内容でございます。

本条例の施行期日につきましては、令和6年6月1日としております。

どの部分が市民負担の軽減になるのかということが、今の説明

ではわかりにくいと思いますので、もう少し説明をさせていただきますと、就学援助に係る事務について養育世帯員の収入状況を把握する必要があります。1月1日に米子市に住民登録がない方につきましては、今は所得課税証明を取得してもらい提出してもらっております。この認定事務におきまして、この条例を定めることにより、保護者・申請者の同意を得た上で市が直接収入状況を把握することが可能になりますので、所得課税証明の提出を不要とし、行政手続の簡素化による市民の負担軽減を図っていきたいと考えております。

説明は以上でございます。

浦林教育長 質疑はございませんか。

浦林教育長 上森委員。

上森委員 就学困難な学齢児童生徒をどのように見極め認定するのですか。

長尾課長 教育長。

浦林教育長 長尾課長。

長尾課長 就学援助の制度は、まず申請していただき、それに基づいて税情報を確認させてもらっていいですかという同意を得てからになります。

上森委員 回りが援助をしなければならのではないかと感じたときも本人が申請しなければならないということですね。

浦林教育長 長尾課長。

長尾課長 就学援助の始まりは、まず小学校1年生に上がる健康診断の時に就学援助という制度がありますというご案内を全家庭にいたします。それを見ていただいて自分のところは該当するのではないと思われる保護者に申請をしていただくというところなんです。在校生につきましては、今すでに受けておられる方については再度、年度ごとに認定を行いますので、案内を送らせてもらって、申請をしていただいて認定になるかどうかということ

やっています。

上森委員 あくまでも保護者の申請ありきですね。めんどくさいから申請をしないというような保護者に対してはそのままですか。

浦林教育長 学校は集金情報に気を配っておりまして、滞っているような場合には、学校の方から改めて声をかけるような取り組みを行っています。

上森委員 ぜひとも申請ありきということではなく、案内をこまめにしてもらえたらと思います。

上森委員 集金してもお金入らないとかマイナンバーカードにナーバスになって申請をしないんだとが出てくるのではないかと心配するところです。今、マイナンバーカードの申請登録は米子市は何パーセントぐらいですか。

長尾課長 1月の時点で70パーセントを超えている状況です。これはカードがなくても情報の照会させていただきますというものです。所得証明書には350円かかりますが、この仕組みで同意があれば、費用負担をかけることなく進めることができるということが今回独自に条例を定める趣旨です。

浦林教育長 荒川委員。

荒川委員 住民票関係情報、地方税関係情報、生活保護関係情報、外国人生活保護関係情報の中の関係という言葉にいろんなものが含まれるように思いますが、どういったものが含まれているか教えてください。

浦林教育長 長尾課長。

長尾課長 国の番号マイナンバー法では、生活保護に関する情報は、これとこれとこれしか利用できませんと決められています。米子市の条例で番号法に就学援助の載っていないものを新たに定めて負担軽減を行うために追加するものです。具体的には。番号法に定められた内容の情報を示したものです。

荒川委員 あらかじめ国が決めているルールの中でやるよということですね。

長尾課長 そうです。

上森委員 今、マイナンバーカードの紐づけが間違っていることが問題になっていますが、米子市はその事務は間違いはなかったんですか。

浦林教育長 長尾課長。

長尾課長 間違っていたかどうかは分かりませんが、国が一斉に該当市町村に調査をかけていますが、米子市は該当してません。

浦林教育長 質疑がないようですので、採決いたします。
議案第44号については、「付すべき意見なし。」とすることにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

浦林教育長 異議がないようですので、議案第44号「米子市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、「付すべき意見なし。」で承認することにいたします。

浦林教育長 次に、議案第45号「令和5年度一般会計補正予算（補正第4回）について（教育委員会の所管に属する部分）」を議題とします。
事務局から説明をお願いします。

木村担当課長補佐 教育長。

浦林教育長 木村こども政策課担当課長補佐。

木村担当課長補佐 議案第45号「令和5年度一般会計補正予算（補正第4回）」のうち、教育委員会所管部分につきまして、ご説明いたします。
議案資料（当日配布分）の1ページをご覧ください。

この度の補正予算は、市議会9月定例会に上程を予定しております、いわゆる9月補正予算でございます。一番下の合計欄をご覧いただきますと、補正額の合計を4億3,296万7千円として計上しております。

2ページに移ります。こちらに事業の概要を記載しております。こども政策課所管の事業でございますが、「義務教育学校整備事業」でございます。これは、美保中学校区における義務教育学校の整備に係る建設候補地について、不動産鑑定に基づき土地の購入及び物件の移転補償を行うための経費のほか、当初の予定より前倒しで開校準備委員会を設置し、開校にあたり必要な事項を調査・検討するための経費でございまして、4億3,296万7千円を計上しております。

説明は以上でございます。

浦林教育長 質疑はございませんか。

上森委員 はい。

浦林教育長 上森委員

上森委員 購入面積は何平方メートルですか。

浦林教育長 東森課長補佐。

東森課長補佐 およそ45,000平方メートルです。

上森委員 その面積で、この価格ですね。

東森課長補佐 現在、見えてきたおおよその価格で予算化させていただくということですので、単純な割り算で土地を購入するというわけではありません。

上森委員 大体の評価額ということですね。わかりました。

浦林教育長 質疑がないようですので、採決いたします。

議案第45号については、「付すべき意見なし」とすることにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

浦林教育長 異議がないようですので議案第45号「令和5年度一般会計補正予算(補正第4回)について(教育委員会の所管に属する部分)」は、「付すべき意見なし」で承認することにいたします。

浦林教育長 本日の議事は全て終了しました。以上をもちまして米子市教育委員会を閉会いたします。

閉 会 午後1時50分